

「開発教育教員研修アドバンスコース」概要

JICAの国際教育プログラム(開発教育支援事業)

グローバル化が進む現在、地球に暮らす私たちが自ら足元を見つめ直し、日本を含めた国際社会が抱える課題に取り組むことが急務となっています。そのため、国際教育や開発教育、持続可能な開発のための教育(ESD)といった取組みを多くの教育機関が実践し、その関心と需要はますます高まっています。

また、本格的に導入された新学習指導要領では「持続可能な社会の創り手の育成」の重要性が掲げられ、高等学校で必須科目となった「地理総合」では国際理解と国際協力が3本柱の一つに位置付けられました。教育現場の状況も大きく変化する中、多様な価値観・生活習慣をもつ人々と国内外で共存できるよう、児童生徒が互いの文化を理解し、尊重し合い、違いを認められるなど、新たな社会で生きていくために必要な資質・能力を育むことが求められています。

国際協力活動は主に開発途上国の現場で行われていますが、JICAでは途上国と日本の地域との懸け橋となるべく、国内でも様々な事業を行っています。中でも、長年にわたる国際協力の知見を活用して、小・中・高校や大学、教育委員会や自治体、市民団体などと連携して展開しているのが国際教育プログラム(開発教育支援事業)です。

JICA中国では、国際協力出前講座、JICA中国施設訪問、開発教育指導者研修といったプログラムを通じて、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりを支援しています。

「開発教育教員研修アドバンスコース」とは

JICAでは、国際教育・開発教育に関心を持つ教員を対象に、実際に開発途上国を訪問し、国際協力の現場を視察することで、途上国の現状や日本との関係性、国際協力への理解を深め、その成果を、学校での授業等を通じて、地球の未来を担う児童生徒への教育に役立ててもらうことを目的として「教師海外研修」を実施してきました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大にともない、海外渡航が困難となった2020年は、過去に中国地方で「教師海外研修」に参加され、現在まで積極的な授業実践を継続されている先生方を対象に「開発教育教員研修アドバンスコース」(以下、同コース)を実施しました。

地域が急速に国際化する今、異文化に触れ、多様性を考える場面は海外だけではなく、開発途上国で日本との共通点を発見し、共感することで、日本や地域のことを、新たな視点で振り返るきっかけになることもあります。同コースに参加された先生方はそれぞれ、過去にガーナ、インドネシア、スリランカ、ラオスを訪問され、現地での知見を活かした授業実践に取り組まれました。今年度は、過去の海外研修参加時に学ばれた参加型学習プログラム作成の基礎やポイントを活用し、国内のフィールドワークで学んだ知識、情報を分かりやすく整理して、同コースに参加していない教員の方にも広く実践して頂けるよう、学びのプログラムを作成されました。

参加教員の自己研鑽にとどめることなく、自身が得た知識や情報、そして想いを地域の「共有財産」として広く教育現場に伝えていただくこと、それが同コースのねらいです。



「開発教育教員研修アドバンスコース」のながれ

2020年 7月～8月

募集・選考

- 募集（7月～8月12日）
- 書類選考（8月中旬）
- 書類選考結果通知（8月下旬）

2020年 9月5日(土)

オンラインセミナー受講

「SDGs×多文化共生-中国地方から考える『住み続けられるまちづくり』」

- 「持続可能な社会を読み解く多様なレンズ-国際的視点とグローバルな視点を獲得する-」
講師/佐藤 真久 教授（東京都市大学）
- 「中国5県の多文化共生の現状と課題」
講師/明木 一悦 氏（広島県安芸高田市国際交流協会代表理事・事務局長）
- 「『SDGs未来都市』が取り組む多文化共生-広島県東広島市-」
講師/東広島市役所
- 「山間部における多文化共生-島根県雲南市の「チャレンジ」-」
講師/芝 由紀子 氏（一般社団法人 ダイバーシティうんなんtoiro代表理事）

2020年 9月26日(土)

第1回フィールドワーク 広島県・岡山県

歴史から偏見、差別を学び、寛容な共生社会とはなにかを考える

- 「ホロコースト記念館」（広島県福山市）を訪問。盈進中学高等学校の「ヒューマンライツ部」生徒による説明を受けて館内見学。
- 「長島愛生園歴史館」（岡山県瀬戸内市）を訪問、学芸員による説明、案内で関連施設を見学。

2020年 10月10日(土)

第2回フィールドワーク 島根県出雲市訪問

- 「塩冶地区放課後子ども教室」のイベントに参加、子どもとの交流。事業概要や現状などを聞く。
- 出雲市教育委員会主宰「日本語初級集中指導教室」を見学、事業概要を聞く。
- 「MANABIYA」主宰の河原由実氏と面会、活動内容を聞き、意見交換。

2020年 11月21日(土)～22日(日)

第3回フィールドワーク 広島県東広島市訪問

- 日本語教室「にほんごわいわい八本松」を見学、参加者との交流。事業概要や課題などを聞く。
- 「広島イスラム文化センター」を訪問。イスラム教に関する講義を聞き、施設見学。
- フィールドワーク全体のふり返り
- 教材を作成するためのワークショップ、協議。

2020年 12月～2021年 3月

「学びのプログラム」作成のための協議、討論(オンライン)

2021年 3月

「学びのプログラム」提出

主催：独立行政法人国際協力機構 中国センター（JICA 中国）

後援：広島県教育委員会、岡山県教育委員会、山口県教育委員会、島根県教育委員会、鳥取県教育委員会、広島市教育委員会、岡山市教育委員会